

令和7年度 農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち 地域資源活用価値創出推進事業(農泊推進型)及び 地域資源活用価値創出整備事業(農泊推進型) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(農泊推進型)及び地域資源活用価値創出整備事業(農泊推進型)」の事業について、農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の3の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した沖縄県内の3地区(4事業)について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が3地区(4事業)との評価結果となった。

3. 各地区的評価結果

4件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
沖縄	沖縄県	与那国町	与那国島まるごと体験推進協議会 ※推進事業	/	/	/	/	●	●	■	/	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
沖縄	沖縄県	与那国町	与那国島まるごと体験推進協議会 ※整備事業	/	/	/	/	/	★	/	◇	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
沖縄	沖縄県	読谷村	読谷ブルーゾーン研究協議会	/	/	/	/	●	●	■	/	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
沖縄	沖縄県	国頭村	やんばる暮らし文化継承協議会	/	/	/	/	●	●	◆	☆	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
 ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
 重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長: 杉村 泰彦(琉球大学教授)

委員: 幸喜 徳子(沖縄石油ガス株式会社 代表取締役会長)、田中 政宏(株式会社リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役社長)

【令和7年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会

1 日 時 : 令和7年7月29日(火) 14:30~16:30

2 場 所 : 沖縄総合事務局 会議室

3 議事概要

① 令和7年度評価対象地区の評価方法について

本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。

② 令和7年度評価対象地区の評価及び取組状況について

令和6年度に事業を実施した3地区(4事業)の、取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関する説明し、質疑応答を行った。

4 主な意見

・与那国島まるご体験推進協議会: 全ての取組が計画どおり実施され、事業実績の目標も達成し、実施体制も整備されていることから、総合評価はAとした。

　※推進事業 目標を大幅に上回る結果は評価できるため、今後も食・体験コンテンツの質の向上を図るとともに、受入れ体制を維持した上で取組を進められたい。特に、与那国島ならではの琉球民謡や地酒等、地域資源を活用し、現地の文化に親しめるような体験コンテンツの開発も検討されたい。

・与那国島まるご体験推進協議会: 宿泊施設は計画通りに建設され、実施体制も整備されていることから、総合評価はAとした。

　※整備事業 今後は建設した宿泊施設とソフト事業での取組の相乗効果により、滞在型観光の促進と定着が実現し、地域振興が加速するものと期待できる。

・読谷ブルーゾーン研究協議会 : 全ての取組が計画どおり実施され、事業実績の目標も達成し、実施体制も整備されていることから、総合評価はAとした。

　目標を大幅に上回る結果は評価できるため、今後も食・体験コンテンツの質の向上を図るとともに、受入れ体制を維持した上で取組を進められたい。

・やんばる暮らし文化継承協議会 : 体験プログラムの開発等の取組はおおむね計画どおり実施され、事業実績の目標も達成し、実施体制も整備されていることから、総合評価はA評価とした。R7年度は、繰越しとなった宿泊施設建設工事を着実に行うとともに、引き続き事業目標の達成に努められたい。